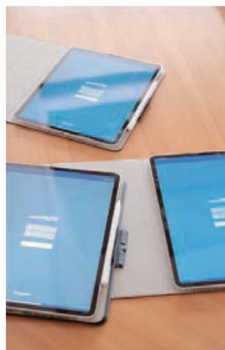


議会報告会ダイジェスト②

昨年 11 月に開催した議会報告会「能美市議会 20 年の歩み」のダイジェスト 2 回目です。

●議会のデジタル化

能美市議会はデジタル機器の導入により、議会の運営や審議の効率化に取り組んできました。



1. タブレット端末の導入

全ての会議で資料のペーパーレス化を実現しました。印刷や製本、差し替えの負担が軽減されました。タブレットはオンライン研修などにも活用しています。



2. グループウェアの導入

LINE WORKS を導入し「事務連絡の迅速化、効率化」「災害時の議員の安否確認、情報伝達」「スケジュール管理の能率化」を図りました。



3. 電子採決システムの導入

これまでの「起立採決」を押しボタンによる「投票」に変え、各議員の賛否状況の明確化、採決結果の見える化、バリアフリー対応を進めました。



4. オンライン委員会を整備

委員会にオンラインで参加できるように条例改正を行いました。妊産婦、介護の従事、病気療養中でも委員会に出席することができ、議員のなり手不足解消の取り組みでもあります。

●議員間討議

能美市議会は「議員間討議」を導入し、議員同士が十分に議論を尽くし、単なる賛否だけでなくどのような考えかを明確にし、争点や論点を整理しつつ合意形成に努めています。

参考：今回の定例会で教育福祉常任委員会において実施された議員間討議の内容を掲載いたします。



・ 議案に関連する全国的な動向や周辺事情の情報把握が議論の前提となり、議員の資質と情報力の向上が求められます。

・ 討議された内容を本会議場で報告するほか、議会として修正動議、附帯決議、提言・要望などの意思を、市長や市執行部へ明確に示します。

能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての議員間討議

論点

国民健康保険財政調整基金の更なる繰入によって、税率の改正を行わないようにできないか。

出た意見

基金の繰入で対応すると4年程度で基金が無くなってしまう。

今後、保険や医療費が下がることは考えにくく、基金が無くなったときには将来の負担が増加することから今回の繰入額で抑えることは正しい判断だと考える。

合意形成

国民健康保険税が上がることは良しとはしていないが、将来のために基金を残しておく必要がある。税率を上げざるを得ない状況となっていることを理解した上で、国や県に公費負担を増やすよう要望していくべきである。